

大阪維新の会  
大阪府議会議員

## くすのき好美の府政報告

# 大阪府議会 教育常任委員会で質問!



吉村洋文知事

大阪府議会令和7年9月定例会は10月20日に閉会しました。  
私は、今定例会の教育常任委員会で質問に立ち、府理事者と議論を交わしました。  
その概要をご報告いたします。

府政に関する相談やお問合せは  
**くすのき好美** 事務所

〒535-0013 大阪市旭区森小路1-11-1  
TEL・FAX (06) 7651-9303



SNS  
QR



## くすのき好美の委員会質問

9月定例会 教育常任委員会(10月9日)

### ギャンブル等依存症対策・啓発

**Q** ギャンブル等依存症については、予てから教職員や保護者(大人)が正しい知識を持つ必要があると訴えてきた。今年度策定予定の第3期計画素案では、教育現場での予防教育の拡充や「家庭との連携」も新たに盛り込まれた。保護者への啓発も含めた、若年層とりわけ高校生への予防教育をどのように取り組んでいくのか。

**A** 保護者に対して、6月の府立高等学校PTA協議会総会でオンラインカジノの違法性やギャンブル等依存症の相談窓口等について周知するとともに、各学校に対して、夏休み前のHR等で担任等から生徒に注意喚起するよう指示したところ。今後、関係部局等と連携を深め、生徒がオンラインカジノの違法性やギャンブル等依存症に対する正しい知識を身に付けられるよう、教職員や保護者に対して機会をとらえて啓発を行っている。

**要望** PTAの研修会には一部の保護者しか参加しなかったり、研修会の案内が行き届いていなかったりするため、ギャンブル等依存症にかかる啓発等は、各学校単位のPTAまで広く行き届く形で実施してほしい。

### その他の質問

- 建築基準法第12条点検による要正項目防火戸改修の進捗状況
- 英語教育の推進
- 水都国際中学校・高等学校の国際バカロレア教育
- すくすくウォッチ事業
- 支援学校卒業後も継続的な学びを支援する取り組み
- 学びの多様化学校
- 不登校支援



### 発達障がいの理解について

**Q** 発達障がいの1つで、知的発達に遅れはないが「読む」「書く」といった学習上に困難さを抱える「学習障がい」については、小学校就学後において、はじめて発見されるケースが多い。学習障がいのある子どもたちへの適切な支援には、早期の障がい状況の把握と、教員の専門的知識の習得が重要である。また、通級指導教室の活用などにより、どの学校でも適切な指導・支援を受けられる体制を整えることが必要である。学習障がいのある子どもたちへの適切な指導・支援や、通級指導教室の活用に向けてどのような取り組みを行っているか。

**A** 各学校の支援教育コーディネーターを中心に、学校全体で障がいのある児童生徒への系統的・継続的な指導・支援が行われるよう、市町村教育委員会と連携し、校内支援体制の充実を促している。府立支援学校の地域支援リーディングスタッフが、小中学校を訪問し、学習障がいなど障がいのある児童生徒の指導や支援に関して様々なアドバイスを行っている。今後も、市町村教育委員会と連携し、障がいのある児童生徒一人ひとりの状況や、心身の発達等に的確に応える学びの充実に向け、取り組みを進めてまいる。

**要望** 早い段階での気づきと適切なサポートが、その後の学習に大きな影響を与える。児童生徒自身の可能性や優れた能力を最大限に引き出し、障がいの状況等に応じたきめ細かな指導の実現を目指してほしい。



